

「雑草アタック」の主原料

固化材 にがり成分（海水マグネシア系土壌固化材）

雑草アタックには、「万里の長城」のレンガ目地成分をヒントに開発された環境型の海水系マグネシウム系固化材を使用しています。古代中国の人々は、石を組上げる目地材にこのマグネシウムを経験的に固化材として使っていました。この耐久性固化物のおかげで、数千年前の姿が現在も保たれています。



「雑草アタック」の主原料

固化材 にがり成分（海水マグネシア系土壌固化材）

- ① 雑草アタックの固化材主成分は国内で生産される海水から抽出される酸化マグネシウム（MgO）です。
- ② この酸化マグネシウムは医薬品、健康補助食品、肥料に使用されている安全性の高い成分です。
- ③ 酸化マグネシウム（MgO）は、水と反応し水酸化マグネシウムとなり初期固化を開始します。



- ④ その後、空気中の炭酸ガスと反応して、塩基性炭酸マグネシウムとなり強度を増大し耐久性固化物となります。

マグネシウム系材料によるメダカの急性毒性試験

2007年4月17日

飽和状態までマグネシウムを溶かした水溶液にヒメダカ(10匹)を48時間入れて実験を行ったところ、雑草アタックに使用している酸化マグネシウムでは、すべて生存が確認されました。

